

## ＜資料1＞

平成30年度 藤枝市行政サービス評価委員会

「地方創生事業(拠点整備交付金・推進交付金)の事業一覧表」

藤枝市

## <事業総括表>

### 地方創生拠点整備交付金(藤枝市中山間地域観光拠点機能強化事業)

#### ■事業概要

##### <目的>

市の特性である「まち」と「むら」が近接する利点を生かし、「まち」場からの回遊性の向上と時間消費、観光消費の拡大を目指し、中山間エリアの観光拠点として地域づくり団体が運営する大久保グラススキー場・キャンプ場(滞在型体験施設)の機能強化を図る。また、この機能強化による施設整備が効果的に生かされるよう中山間エリアマネジメント計画を策定し、中山間エリアにおける一体的な観光拠点化を促進させる。

##### <施設整備概要>

###### 【コテージ宿泊機能向上事業】

- ◆ コテージ改築(2棟、各2部屋) 定員 6名/部屋  
木造平屋建て、建築面積:79.87、延床面積:67.5㎡  
外部テラス増築、LDK部分約10.31増築
- ◆ コテージ新築(1棟、2部屋) 定員10名/部屋  
木造平屋建て、建築面積110.96㎡、延床面積94.4㎡  
LDK、シャワー室、外部テラス等

※平成30年3月施設整備完了

###### 【管理棟機能強化】

- ◆ キャンプ場管理棟  
カフェ(28席)、キッズスペース、授乳室等
  - ◆ グラススキー場管理棟  
キッズスペース、多目的トイレ等
- 【温浴棟整備】
- ◆ 温浴棟 男女各1室(シャワー各2室)、浴室1室  
木造平屋建て、建築面積83.97㎡、延床面積56.43㎡

#### ■事業実績

地方創生交付金 平成29年度KPI実績

KPI名	H32最終目標値	H29目標値	H29実績値	達成率
1 大久保グラススキー・キャンプ場売上高(千円)	29,182	28,773	20,650	71.8%
2 中山間地域観光施設利用者数(人)	484,948	481,048	478,046	99.4%
3 中山間地域活性化施設売上高(千円)	360,862	358,942	338,609	94.3%

※実績値ベース

■事業内容

No.	事業名	事業内容	総事業費(千円)	担当課
1	藤枝市中山間地域観光拠点機能強化事業	<p>【施設整備】</p> <p>①既存コテージの改築(2棟各2部屋)及び新築のコテージ(1棟2部屋)の整備            ②管理棟(キャンプ場、グラススキー場)の機能強化            ③温浴棟を整備</p> <p>【効果促進事業】</p> <p>①中山間エリアマネジメント計画の策定            ②予約システム(ホームページ)の整備            ③コテージ機能向上            ④駐車場・駐輪場等整備</p>	136,053	中山間地域活性化推進課

## <事業総括表>

### 地方創生拠点整備交付金(産学官で人の流れをつくる情報ビジネス創造拠点整備事業)

#### ■事業概要

##### <目的>

加速する中心市街地人口の昼間流出、進学・就職による若者の流出を一体的に抑制し、持続力あるコンパクトシティと地域経済を構築するため、中心市街地への大学キャンパス新設と併せて、ICT化による地域産業の成長支援や情報ビジネス創出、人材育成、就職の“ワンストップ拠点”を形成することにより、地域産業の稼ぐ力の向上、進学時から就職時までの着実な地元定着の流れの創出、中心市街地の恒常的な賑わい創出とビジネスの街なか展開による経済波及を図る。

情報ビジネス創造拠点となる市産学官連携推進センターを設置し、市内産業のICT化による競争力向上を担う「藤枝ICTコンソーシアム」の活動拠点及び中小企業の伴走型支援を担う「藤枝エコノミックガバナードニング支援センター・エフドア」を集約し、地域産業の成長支援と、学生の地域企業との共同によるビジネス体験・情報ビジネス創出を一体的に行い、確実な雇用創出と就職のマッチングを行い、持続可能な地域経済循環サイクルと活動量の多いコンパクトシティを構築する。

##### <施設整備概要>

市立図書館等が入居する官民複合施設「BiVi藤枝(土地所有者:藤枝市、建物所有者:大和リース㈱)」1階の約1,200㎡を改修し、静岡産業大学が設置する藤枝駅前大学キャンパスと一体的に整備を行った。

##### ■活動交流スペース:

交流できるフリースペース

学生や企業間の連携、地域社会との交流促進などにも活用

##### ■セミナールーム:

間仕切りによる4部屋分の可動式レンタルスペース

講義、演習、会議等のスペースとして活用

##### ■中小企業支援拠点「エフドア」(市創業支援室併設)

中小企業支援のワンストップ窓口

伴走型支援を展開

##### ■食メディアアラボ:

調理スペース

地産地消や食育の場として活用

※平成29年9月施設整備完了

#### ■事業実績

地方創生交付金 平成29年度KPI実績

KPI名	H33最終目標値	H29目標値	H29実績値	達成率
1 産学官連携情報ビジネス創出事業件数(件)	25	12	8	66.7%
2 市内へ就職した大学生数【連携4大学より】(人)	42	42	62	147.6%
3 中心市街地の空き店舗や施設の空き区画を利用したチャレンジショップ数(件)	4	0	3	-

※実績値ベース

■事業内容

No.	事業名	事業内容	総事業費(千円)	担当課
2	産学官で人の流れをつくる情報ビジネス創造拠点整備事業	官民複合施設「BIVI藤枝」1階に静岡産業大学の藤枝駅前キャンパスと一体的な、産学官連携によるICT化による地域産業の成長や人材育成、情報ビジネス創出、雇用・就職のマッチングを行う藤枝市産学官連携産業支援センターを整備。「BIVI藤枝」1階の区画約1,200㎡において、内装等の改修工事やサイン工事等を実施。	94,999	企画政策課

## <事業総括表>

### 地方創生推進交付金(ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト)

#### ■事業概要

ICT・IoT活用により、地元企業の持続的な成長の基礎づくり、若い世代が働きたい就業環境づくりを進め、将来を担う人材を育成することで、魅力ある「しごと」と輝く「ひと」を生み出し、地元での就職やUJターンを希望される「稼ぐ力のあるまち」を目指し、移住・定住を促進する。事業の推進主体として産学官連携により「藤枝ICTコンソーシアム」を設立し、ICT活用に精通した人材養成や、地域内中小企業のICT活用促進、また仕事を集めるクラウドソーシング導入に向けた体制構築を進める。

レベルやニーズに応じたICT教育機会を民間主導で構築し、即戦力となるICT人材を育成。同時に、クラウドソーシングの提供や地元の産業におけるICT導入支援により、企業収益を改善し個人所得の向上を図ることで、地元に着着する移住者をさらに増加させる好循環を生みだしていく。特にクラウドソーシングについては、仕事およびワーカーの確保が重要となるため、地元企業からの仕事の発注促進に加えレベルの高いワーカー育成に主眼を置き、仕事の質と量の確保に努める。

#### ■事業実績

##### 地方創生交付金 平成29年度KPI実績

KPI名	H32最終目標値	H29目標値	H29実績値	達成率
1 20～30代の転入者数(人)	2,858	2,799	2,539	90.7%
2 クラウドソーシングによるしごと創出数(件)	266	30	52	173.3%
3 地元企業でICTを新たに導入した企業数(社)	24	4	8	200.0%

※実績値ベース

#### ■事業内容

No.	事業名	事業内容	総事業費(千円)	担当課
3	ICTロボット教育普及事業	民間事業者が主体となった、小学生から中学生を対象とした科学・ICT・ロボットに特化した教育を受けられる環境を整えるため、事業費の一部を補助。	6,000	ICT推進室

No.	事業名	事業内容	総事業費(千円)	担当課
4	ICT活用エキスパート養成事業	小・中学生を対象としたプログラミング教育に続く、切れ目のないICT人材育成の一環として位置付け、高校・大学・社会人を対象として、即戦力となるICT人材の育成を行う藤枝ICTコンソーシアムの活動を支援。	6,000	ICT推進室
5	藤枝クラウドソーシングモデル事業者募集・選定事業	ICTを活用した新しい働き方を提案し、個人所得の向上を進めるため、時間や場所、業務の種類を選ばないクラウドソーシングを導入する藤枝ICTコンソーシアムの活動を支援。	66,750	ICT推進室
6	クラウドソーシング業務発注体験事業	藤枝ICTコンソーシアムが進めるクラウドソーシング事業の一環で、地元企業等のクラウドソーシングを活用した業務発注のノウハウ習得に向けて、クラウドソーシングシステムの運用試験モニターを兼ねた発注体験事業を支援。	5,000	ICT推進室
7	オープンスペースの設置	クラウドソーシングを利用するワーカースペースのためのスペースを設置に関して藤枝ICTコンソーシアムを支援。藤枝市産官学連携推進センター及び静岡産業大学藤枝駅前キャンパスに相談窓口を設置し、ワーカースペースの相談対応や管理面談等を行った。	900	ICT推進室
8	地元企業のICT導入促進事業	市内企業の業務・収益改善等を目的にICT導入に関する個別相談、導入に関して、藤枝ICTコンソーシアムが展開する活動を支援。市内中小企業の実態調査及びヒアリング調査を実施した。	23,000	ICT推進室
9	地域産業IoT活用促進事業	国内には環境がないIoT活用通信基盤(LPWA)を、ソフトバンク側と連携して全国自治体で初めて実証構築。新たな行政施策の展開と併せ、地元産業のIoT活用を推進した。	34,500	ICT推進室
10	LPWA活用実証実験事業	IoT活用通信基盤を活用し安全・安心な住環境づくりに向け行政サービスの実証実験として、小学校1年生の保護者(希望者)を対象にスマートフォンから確認できる子ども見守りサービスを試験的に提供した。	15,500	ICT推進室

＜事業総括表＞

地方創生推進交付金（広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト）

■ 事業概要

北海道恵庭市特産のトマトを藤枝市の民間企業の世界的乾燥技術により加工する商品化スタートプロジェクトを皮切りに、気候・風土が全く異なる北海道と静岡の豊富な食・特産品のブランド力に、民間企業技術を活用するなど、広域農商工連携による新たな価値を有する新商品開発・ブランド化を進める。ハスカップ、南瓜、みかん等の特産品を使った高付加価値新商品ブランドに発展させるとともに、それぞれの都市の至近である新千歳空港と富士山静岡空港を生かした国内やアジアへの販路拡大を図る。事業効果を高めるため、①マーケティング、②啓発、民間事業者のマッチング・交流会、③相互産物を活用した新商品開発・ブランド化、④ネットショップ開設⑤近隣空港就航先等、海外を含めた販路拡大、という一連の流れに沿って展開する。

■ 事業実績

地方創生交付金 平成29年度KPI実績

KPI名	H30最終目標値	H29目標値	H29実績値	達成率
1 農工商連携製品販売額(千円)	48,100	9,620	11,860	123.3%
2 企業の引き合わせ(マッチング)件数(件)	7	4	22	550.0%
3 新規雇用人数(人)	2	1	1	100.0%

※実数値ベース

■ 事業内容

No.	事業名	事業内容	総事業費(千円)	担当課
11	交流会啓発・相談支援事業	両市の事業者を引き合わせるマッチング交流会の啓発や産業コーディネーターやエフドアによるマッチング交流会の補助及び各事業者への助言や相談、交流会によりマッチングが成立した両市の事業者に対しての商品開発につなげるための専門家による伴走型支援を実施。	7,058	産業政策課



No.	事業名	事業内容	総事業費(千円)	担当課
12	マッチング・交流会	恵庭市で開催されるマッチング・交流会への参加及び本市会場のマッチング・交流会の開催。	1,940	産業政策課
13	新発見プロジェクト	両市の特産品や連携事業のPRを中心に藤枝市内の食関連事業者が出席し、両市の連携や産業交流から、他の友好関係都市や事業者へ広域連携の輪を広げる事業を実施。	2,874	産業政策課
14	連携商品スタートアップ支援	農商工連携に取り組む、両市の事業者連携による新商品開発に係わる専門家派遣や開発経費への補助を実施。	500	産業政策課
15	ブランド発信事業	両市の連携事業をテーマにして、複数のマスメディア(テレビ、ラジオ、ウェブ、紙面等)を活用し、両市の事業者が連携した新商品開発の取り組みを発信。	1,799	産業政策課
16	特産品等販売システムを含む農商工連携6次産業化推進協議会負担金	両市は広域ネットワークに係る経費を負担し、平成29年度はネット販売に係るシステムの構築に取り組む。	313	産業政策課
17	販路拡大促進事業費	両市の製品及び連携商品、取組事業、ネット通販等をPRするため、東京駅日本橋口を会場においてイベントを実施。	898	産業政策課

## <事業総括表>

### 地方創生推進交付金（大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる 藤枝”活動・交流都心”創造計画）

#### ■事業概要

市産学官連携推進センターを拠点に、その活用を図るとともに競争力・持続力ある地元産業とこれを担う人材を育成し、地元産業の振興や学生の地元定着、中心市街地の活性化を推進するため、推進組織となる「産学官連携推進協議会」を産学官金により立ち上げ、以下の取組を実施している。

- ・「産学官連携推進センター」を活動拠点とした企業と学生のビジネス研究・交流、就職マッチングや学生、市民を対象にしたビジネス学習、まちづくりセミナー雇用・就職マッチングのワンストップ化
- ・実践的「情報ビジネス」教育による学生等の人材育成と、街なかでの活動展開による中心市街地のまちなちの魅力向上
- ・街なかでのビジネスコミュニティ活動促進と郊外拠点エリアへの効果的展開を図る仕掛け、また情報ビジネスの一環としてのシニアサイクル構築による、コンパクト+ネットワークの充実
- ・情報ビジネス産業の成長による雇創出、実戦力のある人材育成の両立による、学生の確実な地元定着の流れ創出

#### ■事業実績

##### 地方創生交付金 平成29年度KPI実績

KPI名	H31最終目標値	H29目標値	H29実績値	達成率
1 産学官連携情報ビジネス創出事業件数(件)	25	12	8	66.7%
2 市内へ就職した大学生数【連携4大学より】(人)	42	42	62	147.6%
3 中心市街地の空き店舗や施設の空き区画を利用したチャレンジショップ数(件)	4	0	3	-
4 法人市民収入額(円)	1,562,693,426	1,504,815,892	1,624,758,650	108.0%

※実数値ベース

#### ■事業内容

No	事業名	事業内容	総事業費(千円)	担当課
18	産学官連携による「情報ビジネス」創造	産学官連携推進センターの設置に伴い必要となる、いすや机などの家具備品や機械器具等の整備。 産学官連携推進協議会が主体となって実施した、学生と企業とのマッチングや学生による地域企業探索などの取組支援。	14,802	企画政策課

No.	事業名	事業内容	総事業費(千円)	担当課
19	「情報ビジネス」の街なかへの展開	藤枝市産学官連携推進センターを拠点として実施した、食に関する各種講座や体験型マルシェ、各種公開講座などの活動の展開を支援。 起業を目指す者や起業して間もない者が試行的に気軽に出店できるスペース(チャレンジショップ)の開設。	6,613	企画政策課
20	「情報ビジネス」による新たな街なかネットワークの形成	シェアサイクルシステムの導入及びステーションの設置や自転車の購入にあたり、運営主体の第3セクター(柗まちづくり藤枝へ間接補助を行うことによりシステムの初期基盤を構築。	2,000	中心市街地活性化推進課